

2024 年度助成 [技術開発]

| テーマ | 申請者 | 助成金額 (万円) |
|--|-------------------------------|--------------|
| UHD ディスプレイを指向したフルカラー狭帯域発光有機 EL の開発 | 九州大学高等研究院 教授 安田 琢磨 | 375 |
| 12GHz 帯衛星放送システムを利用したポータブルラジオ端末用小形アンテナの研究 | 横浜国立大学大学院工学研究院 准教授 久我 宣裕 | 400 |
| スケーラブル符号化における高効率レイヤ間符号化モード決定方式 | 東京農工大学大学院工学研究院 教授 岩崎 裕江 | 176 |
| 超小型 3 波長オーロラ計測カメラシステムの開発 | 国立極地研究所 准教授 片岡 龍峰 | 300 |
| 動物体を排除した仮想化現実空間の構築に基づく隠消現実の実現 | 大阪工業大学情報科学部 准教授 河合 紀彦 | 388 |
| 愛されるコンパニオンロボットの非言語的振る舞いのパターン | 東京都市大学デザイン・データ科学部 教授 市野 順子 | 200 |
| 災害報道を自己と関連づけて理解するための基盤となる神経機構 | 京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 月浦 崇 | 400 |
| 映像視聴時の瞳孔径変動と情動の関連性に関する基礎解析 | 秋田大学大学院理工学研究科 教授 石沢 千佳子 | 160 |

2024 年度助成 [人文社会]

| テーマ | 申請者 | 助成金額 (万円) |
|--|---|--------------|
| 日本の若年世代の放送ジャーナリズムに対する意識の社会学的研究 | 金沢大学人間社会研究域人文学系 教授 轟 亮 | 50 |
| フィルターバブルに挑むラジオ制作教育～学生の情報行動変容の検証 | 「メディア実践と教育」研究会 代表 濱口 英雄 (立命館大学衣笠総合研究機構 客員研究員) | 71 |
| スポーツ実況におけるリプレイが持つ言説的機能の研究 | スポーツキャスティング研究会 代表 酒井 信一郎 (立教大学 兼任講師) | 61 |
| 深夜番組の通史的研究 ―テレビと時間・都市空間の社会学― | 立命館大学大学院社会学研究科 博士後期課程 今城 和香 | 40 |
| 参与観察・インタビュー調査による日韓国際ニュース放送の研究 | 日韓トランスナショナルジャーナリズム研究会 代表 鈴木 弘貴 (聖心女子大学 教授) | 110 |
| NHK と BBC のインターネット配信導入に関する比較研究：ストリーミング時代における公共放送としての NHK の役割への影響 | 国際基督教大学教養学部 助教 Tse Yu-Kei | 100 |
| AI による放送コンテンツの制作と配信をめぐる法的・倫理的課題の解決に向けた調査研究 | 豊橋技術科学大学総合教育院 准教授 蔡 万里 | 90 |
| 1930 年代のラジオ放送と南米行き移民をめぐる広報メディアの研究 | 国際日本文化研究センター 特定研究員 根川 幸男 | 49 |
| 平和構築に向けたラジオ放送の役割に関する研究：韓国 KBS と台湾中央広播電台の調査・分析を中心に | 「平和のためのラジオ放送」研究会 代表 小林 聡明 (日本大学 教授) | 106 |
| 安部公房のラジオドラマに関する研究 | 一橋大学大学院言語社会研究科 博士後期課程 納谷 耕世 | 40 |

| テーマ | 申請者 | 助成金額 (万円) |
|---|---|--------------|
| ラジオ番組「ABC こどもの歌」にみる新しい 子どもの歌とその功績 | ノートルダム清心女子大学人間生活学部 准教授 葉口 英子 | 60 |
| 放送の地域格差からみるアニメファンの経験 | 立命館大学産業社会学部 准教授 近藤 和都 | 67 |
| 日本のアニメ業界における女性制作者の労働・ 職位と少年向け作品の女性表象に関する研究 | Women in Japanese Animation (WIJA) 研究会 代表 須川 亜紀子 (横浜国立大学大学院 教授) | 85 |
| 放送業界におけるジェンダー平等に関する実 態調査 2025 | GCN(ジェンダーとコミュニケーションネット ワーク) 共同代表 四方 由美 (宮崎公立大学 教授) | 140 |
| 1960-70年代女性週刊誌の歌番組記事のジェン ダー分析 | 国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究 科 博士後期課程 加藤 穂香 | 47 |

2024 年度助成 [イベント事業 (前期)]

| テーマ | 申請者 | 助成金額 (万円) |
|--|--|--------------|
| 過疎地域における遊休施設の利活用を考える 住民参加型音声コンテンツ事業 | 喫茶らじお実行委員会 ディレクター 高橋 紘子 (新潟放送ビジネスプロデュース局エリアプロ デュース部 ディレクター) | 200 |
| 40 周年記念 “創り手が選ぶ創り手のための賞” 「ATP 賞テレビグランプリ」受賞式および ATP 賞 40 周年記念 若手クリエイターズフォーラ ム「J コンテンツの近未来」 | 40 周年記念 ATP 賞テレビグランプリ受賞式実 行委員会 事務局長 原田 美穂 (全日本テレビ番組製作社連盟 事務局長) | 350 |
| ドキュメンタリー番組制作のための勉強会 | 「北海道ドキュメンタリーワークショップ」実 行委員会 委員長 山崎 裕侍 (北海道放送コンテンツ制作センター報道部 エグゼクティブマネージャー) | 250 |
| 組織や世代を超えて繋がる。ドキュメンタリ ーの未来に繋げる。 | 福岡メディア批評フォーラム 幹事 吉崎 健 (NHK福岡放送局 コンテンツセンター制 作 エグゼクティブ・ディレクター) | 120 |
| 運営改善を伴う第 44 回「地方の時代」映像祭 の開催と作品アーカイブの利用に向けた整備 | 「地方の時代」映像祭実行委員会 プロデューサー 市村 元 (関西大学 客員教授) | 250 |

2024 年度助成 [イベント事業 (後期)]

| テーマ | 申請者 | 助成金額 (万円) |
|---|--|--------------|
| 大阪・関西万博 災害映像の教訓を未来につなぐイベント・国際シンポジウム | 大阪・関西万博 防災の未来設計図プロジェクト プロデューサー 木戸 崇之 (エー・ビー・シー リブラ ビジネス開発部長) | 200 |
| GMMP2025 から学ぶメディアの中の多様性と課題：国際セミナーとフォーラム | FCT メディア・リテラシー研究所 GMMP プロジェクト プロジェクトコーディネーター 高橋 恭子 (早稲田大学 教授) | 90 |
| 視聴覚障害鑑賞サポート・LGBTQ + 支援施策に取り組む音楽イベント | 「音楽・社会・人」をつなげる音楽イベント『Grooving Night』 プロデューサー 門上 由佳 (読売テレビ プロデューサー) | 200 |
| 放送の未来を担う人材育成・交流事業 | 地方の映像クリエイター育成実行委員会 実行委員長 森内 真人 (青森放送 常務取締役制作局長) | 150 |
| 若者とメディアは戦争をどう伝えるかを考えるワークショップ | 戦争と平和語り継ぐワークショップ実行委員会 委員長 軸屋 忍 (鹿児島放送 代表取締役社長) | 150 |
| 急速に変化するメディア市場において、日本の映像コンテンツを国際的に発信するための実践的ノウハウを提供するワークショップ | WIDE 実行委員会 委員 中尾 佐知子 (グローバル・コンテンツ・アソシエーション) | 200 |
| 報道実務家フォーラム 2025 及びそれに関連する一連の研修イベント | 報道実務家フォーラム 理事長 瀬川 至朗 (早稲田大学 教授) | 100 |
| 地域ジャーナリズムにおけるデータ報道・OSINT の推進 | 地域ジャーナリズムデータ報道・OSINT 推進グループ 坂本 信博 (西日本新聞社 総合デスク) | 150 |
| 災害から命を守る放送とは？～NHK 民放 6 局防災勉強会～ | NHK 民放 6 局防災プロジェクト 浜野 高宏 (NHK エンタープライズ プロデューサー) | 200 |
| 「放送作家の番組証言アーカイブ」の構築および「放送番組を振り返るイベント」の開催 | 放送作家の証言プロジェクト プロジェクト長 さらだ たまこ (日本脚本家連盟) | 50 |

| テーマ | 申請者 | 助成金額 (万円) |
|--------------------------------|--|--------------|
| 脚本・台本の収集保存および「デジタル脚本ミュージアム」の活用 | 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム 代表理事 池端 俊策 | 200 |
| ABU Kids 2025 | アジア・太平洋放送連合 (ABU) 番組局長 長畑 靖成 | 180 |
| 日韓中テレビ制作者フォーラム2025 (日本開催) | 日韓中テレビ制作者フォーラム 2025 実行委員会 事務局長 村田 慎一郎 (全日本テレビ番組製作社連盟 事務局長) | 350 |